



海事分野における脱炭素化促進事業 (うちLNG・メタノール燃料システム等の導入支援事業)



先進的な航行システムの普及促進に向けて

本事業は、LNG・メタノール燃料システム及びそれと組み合わせる省CO₂技術の導入補助により、CO₂排出削減量の拡大及び温暖化対策コストの低減を促し、更なるCO₂排出量を削減するLNG・メタノール燃料船が社会に広く普及することにより、脱炭素社会の創出を目指す取組です。

船舶分野においては、代替燃料の活用による更なるCO₂排出削減が期待されており、CO₂削減に加え環境（NO_x、SO_x）性能等に優れたLNG・メタノール燃料が挙げられています。

しかし、LNG・メタノール燃料船については、国内の導入実績が少なく、導入コストが高い等のため、普及が進み難い状況です。このため、本事業では、LNG・メタノール燃料システムの導入を支援し、業界がノウハウを蓄積することで、導入コストの低廉化を図ることで、LNG・メタノール燃料船の自立的普及を目指します。

LNG・メタノール燃料システム等の導入支援事業イメージ

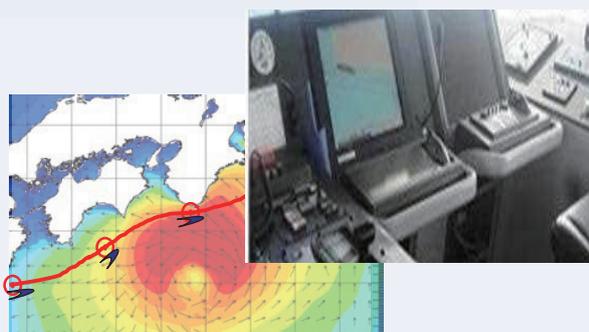


エンジン

燃料供給装置



省CO₂技術と組合せ



推進システム等の導入で、内航海運のCO₂排出量2030年2割削減

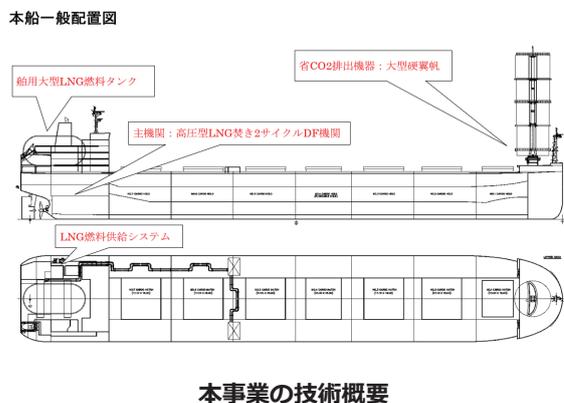
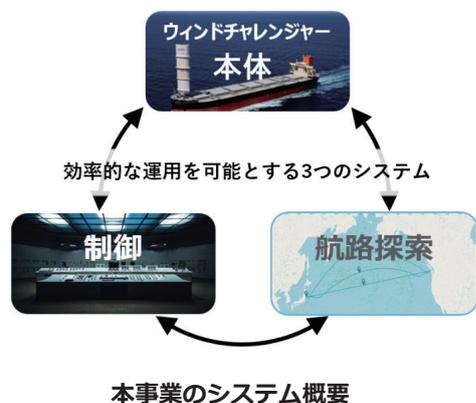


高圧式LNG燃料システム搭載のばら積み船の建造

期間：令和5年～7年度

ばら積み船における高圧式LNG燃料システム導入事業

高圧式LNG焚き燃料エンジン及びLNG燃料供給システムを搭載する95000DWT型ばら積み船の建造プロジェクトです。また、LNG燃料タンクについても建造造船所がその製造を担うことで計画しており、その他省CO₂排出機器についても、硬翼帆式風力推進装置を適用する事により、CO₂排出消費削減率25.2%を実現する事業です。



メタノール燃料システムを搭載した内航RORO船

期間：令和6年～9年度

代表 トヨフジ海運株式会社



協力事業者／自治体：
三菱造船株式会社

低・脱炭素（メタノール）燃料システム搭載内航RORO船運航事業

低/脱炭素化に向けて、現在運航する内航船6隻の内、5隻を重油燃料船からメタノール燃料船に順次代替えることを計画しています。本事業はその皮切りとなる1番船を対象とし、内航大型RORO船にメタノール燃料エンジン、燃料供給システム、軸発電機を搭載し、CO₂排出消費削減率12.44%（既存 重油船比）を実現する事業です。

